

はなまき市議会だより

花の風

第75号

令和5年5月1日



もくじ

- 2 3月定例会概要・議案審議質疑
- 5 一般質問
- 11 予算特別委員会
- 14 請願・陳情審査
- 15 常任委員会等の活動報告
- 16 ちょっと一言、議会の動きほか

令和4年度花巻市一般会計補正予算(第14号)

可決

要旨…歳入歳出予算にそれぞれ13億1,755万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を569億4,860万3千円とするもの。決算見込みに基づく過不足額の整理等に係る歳入歳出予算の補正など。

質疑

【新興製作所跡地擁壁調査等業務委託料】

- 質問…調査業務委託料2,600万円の内容を伺う。
答弁…擁壁の強度やその他測量等である。
- 質問…調査期間はどれくらいで、いつから開始するのか。
答弁…調査期間は約8カ月を予定している。3月中に契約して、11月末くらいには調査の成果が出ると思われる。



新興製作所跡地

花巻市まち・ひと・しごと創生基金条例

可決

要旨…企業版ふるさと納税による寄附金を管理し、市の認定地域再生計画に記載されている、まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に要する費用に充てるため、基金を設置しようとするもの。

質疑

- 質問…企業版ふるさと納税は以前に導入してはどうかという提案があったが、今回初めて導入することに決めた経緯を伺う。
答弁…市の事業計画に対して、本市に本店を置く花巻信用金庫からの推薦をいただき、信金中央金庫の事業に採択されたことにより、寄附金をいただくこととなり、令和5年度以降の事業に活用するため、この基金の創設に至った。
- 質問…他の企業から寄附金があった場合もこの基金の対象となるのか。
答弁…対象となると考えている。
- 質問…今回の寄附を使って活用する事業は何か。
答弁…リノベーションの関係で、上町エリアの社会実験に活用したいと考えている。



【表紙写真について】

「はなまき市議会だより」は、市内高校の写真部が撮影した作品を表紙写真として掲載しています。今回の表紙写真は、花巻北高等学校写真部から提供いただいた素材をもとに、花巻市議会広報委員が編集したものです。

3月定例会 提出された42議案を可決

令和5年第1回花巻市議会定例会は2月24日から開会、3月16日までの21日間の日程で開かれまし
た。
初日の本会議では、市長施政方針および教育長演説が行われ、提出議案の説明がなされたほか、令和5年度花巻市予算は、議長を除く全議員で特別委員会を設置し、審査することとしました。
2月28日から3月3日までは一
般質問に14人が登壇し、市政課題
について質問しました。
3月6日には議案審議を行い、
全議案を原案のとおり可決したほ
か、花巻市教育委員会委員の任命
については、熊谷勇夫氏（再任）
を全会一致で同意しました。
3月7日から9日まででは予算特
別委員会が開かれ、令和5年度花
巻市一般会計予算および各特別会
計予算等について原案のとおり可
決しました。また、最終日には、
令和4年度花巻市一般会計補正予
算（第15号）など2議案が追加提
案され、原案のとおり可決しまし
た。
主な可決議案や質疑は、次のと
りです。

花巻市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

可決

要旨…家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、児童の安全の確保に関する計画の策定、送迎に当たっての安全管理の徹底および懲戒に係る権限の濫用禁止について、所要の改正をしようとするもの。

質疑

- 質問…条例に関する対象事業者はいくつあるか。
答弁…市内では1件である。
- 質問…保育の現場は命を預かる場であり、特に安全性と保育の質の担保を行政が把握することが重要と思うが所見を伺う。
答弁…保育の現状の把握は大切と思っているので、各保育施設と連携を取っていく。



質疑

- 質問…安全計画の策定などが入っているが、職員に対する安全対策訓練を日頃から行うことも必要と思うが所見を伺う。
答弁…新たに安全計画を策定するのではなく、各保育施設で設けている一定の基準を必要に応じて修正していくことと捉えているため、各保育施設と連携を取りながら、より安全な保育ができるようにしたいと考えている。



一般質問

3月定例会では、14人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和5年第1回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）	
阿部 一男 議員 (社民クラブ)	①第2次花巻市まちづくり総合計画について ②農業問題について
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①新花巻図書館の整備について ②鳥獣被害防止対策について
藤根 清 議員 (明 和 会)	①農業振興について ②マイナンバーカードの普及促進について
羽山るみ子 議員 (はなまき市民クラブ)	①JR花巻駅について ②新花巻図書館の整備について ③アンケート調査について
照井 省三 議員 (社民クラブ)	①市長施政方針について ②新型コロナウイルス感染症対策について ③保育所の職員配置基準について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①パートナーシップ宣誓制度について ②会計年度任用職員制度について ③学校給食費無償化に向けた取組について
及川 恒雄 議員 (明 和 会)	①地方鉄道の存続について ②第2次花巻市まちづくり総合計画について
伊藤 盛幸 議員 (はなまき市民クラブ)	①第2次花巻市まちづくり総合計画について ②新花巻図書館の整備について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①市長施政方針について ②JR東日本釜石線の存続について ③新型コロナウイルス感染症対策について
鹿討 康弘 議員 (はなまき市民クラブ)	①人口減少対策について ②保育施設への支援について
本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	①JR花巻駅橋上化・東西自由通路の整備について ②旧新興製作所跡地について
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	①AEDの円滑な活用の推進について ②不登校の児童生徒への支援について ③観光資源の活用について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①带状疱疹ワクチンについて ②子育て支援の充実について
大原 健 議員 (会派に所属しない)	①市長施政方針について ②市道交差点における路面カラー舗装について ③旧学校施設の利用について ④救急業務について ⑤花巻市消防団応援事業について

◆一般質問とは
一般質問とは、議員が市政全般のことに関して、市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、報告、説明を求めることです。
年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

◆質問時間は60分
花巻市議会では、制限時間60分以内で質問と答弁を行います。

◆事前通告
質問する議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。
事前通告とするのは、発言の順序や発言時間を整理し、議員に発言の機会を平等に与えることを保障するのと同時に、議事の能率的運用を促進するためです。

花巻市認知症高齢者グループホーム条例の一部を改正する条例

可決

要旨…物価高騰に伴い、認知症高齢者グループホームの指定管理者が定める利用料金の上限額となる算定基準額について、所要の改正をしようとするもの。

質疑

- 質問**…市内の認知症高齢者グループホームの事業所数と利用者数について伺う。
- 答弁**…事業所数は17施設あり、利用者数は令和2年9月1日時点で193人である。

反対討論

【照井明子 議員】
条例改正案は認知症グループホームにおける食事費、光熱水費、リネン費等利用料を1日当たり550円、1カ月当たり1万6,500円の増額とするものであり、利用者への負担転嫁は避けるべきであることから反対する。

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案 24	花巻市認知症グループホーム条例の一部を改正する条例
請願 5	消費税インボイス制度の実施延期を求めることについて
請願 1	シルバー人材センターを「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」の適用除外にするよう国に意見書の提出を求めることについて
陳情 2	市政の重要課題について、議員相互間の議論を尽くすことを求めることについて
陳情 3	新花巻図書館整備事業の所管事務調査を求めることについて
陳情 4	感染対策として予防効果が疑わしいmRNAワクチン接種の政策評価を求めることについて
意見書案 1	シルバー人材センターを「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」の適用除外とすることを求める意見書の提出について

議員名	明和会			はなまき市民クラブ				社民クラブ		日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない			審議結果												
	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	小森田郁也	鹿討康弘	羽山るみ子	佐藤現	伊藤盛幸	内館桂		本館憲一	照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	似内一弘	佐々木精市	大原健	菅原ゆかり	
議案 24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願 5	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
請願 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 2	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情 3	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情 4	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
意見書案 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。



あべ かずお 議員
阿部 一男

■花巻市まちづくり総合計画

Q 第2次花巻市まちづくり総合計画におけるSDGsの位置付けについて伺う。

A 総合計画は地域特性や市民ニーズを踏まえ、持続可能な市政運営のため、SDGsとの関連付けの視点も入れ、策定する。長期ビジョンではSDGsの定義と総合計画での位置付けや基本的な考え方を示し、アクションプランでは施策がどのゴールを達成する取り組みにつながるのかアイコンで明示することも予定している。

■農業問題



Q

農業は今、ロシア・ウクライナ戦争による輸出入制限、諸経費高騰の打撃を受けているが、市独自の食と農を守る計画を策定する考えはないか伺う。

A

国では、食料・農業・農村基本法を改正の方向で議論している。独自に計画を策定した市もあるが、当市は国の法律の改正内容や、策定中の第2次花巻市まちづくり総合計画の内容も踏まえ、その必要性も含めて検討していきたい。

■有害鳥獣対策

Q

鳥獣被害状況およびイノシシ被害防止対策について伺う。

A

令和3年度はカラスの被害額が一番多く、イノシシの被害額は令和2年度と比較して約6倍になっている。大迫ではニホンジカによるアスパラガスへの被害などが確認された。市では被害防止効果に特に効果が認められている電気柵への補助を行っているほか、令和3年度から有害鳥獣対策アドバイザーによる指導を行っており、今後も情報収集と調査を行う。

■新花巻図書館の整備

Q

旧総合花巻病院跡地へ図書館を建設する考えについて伺う。

A

現時点で建設場所について市民の意見の集約はできていない。JR東日本との協議の結果、駅前に建設することが現実的でないこと判断し、病院跡地に市民の意見が集約される場合には、病院跡地に建設する可能性もあると考えている。病院跡地は、建物の解体、土壌汚染の除去などの作業が令和4年度中にも完了予定であり、その後、土地の売買価格について総合花巻病院と協議することとしている。

■農業振興



ふじね きよし 議員
藤根 清

Q

新規就農者確保に向けた取り組みおよび担い手農家、集落営農組織、農業法人への経営指導について伺う。

A

花巻農業協同組合や県と市で構成し、毎月1回開催している花巻市ワンストップ就農相談窓口などで、就農希望者に各種事業の活用やサポート体制の提示を行っている。今後、親元就農の方にも拡大していきたいと考えている。また、研修会や専門家による個別訪問を行っており、今後も支援を続けていく。

Q

■マイナンバーカード



健康保険証や運転免許証などの一体化に向けて準備が進められているが、カードの現在の申請率と今後の普及拡大に向けた取り組みについて伺う。

A

令和5年1月31日時点で63・8%の申請率となっている。現在、市内商業施設での出張申請サポートや市役所の窓口受付時間の延長、土日祝日の開庁を行い対応している。今後、申請率の低い高齢者などに関して、関係機関とも連携し、多くの申請を受け付けられる方策を考えていく。



はやま みこ 議員
羽山のみ子

■新花巻図書館の整備

Q

新花巻図書館整備事業の市民説明会においてアンケート調査が行われなかったが、改めてアンケート調査を行う考えはないか伺う。

A

アンケート実施に当たり、市民が判断するための十分な情報を提供することができず、適切な設問にすることは困難であると考えた。市民の意見の集約ができていない中で、アンケートではなく話し合いによる意見の集約に努めていく必要があると考えている。

Q



市内高校生のグループワークでは駅前立地希望者が多かったが、図書館以外の施設も含めて幅広く意見を聞くことについて意見集約を実施したか伺う。

A

高校生のグループワークにおいては、図書館以外に駅前何処か欲しいかというようなアンケートは行っていない。そういったことについては、まちづくり計画などの若者ワークショップなどで聞く場面はあるだろうと考える。

■マスク着用基準

Q

国は、マスク着用の判断基準は3月13日から個々の判断に委ねるとしているが、市の対応について伺う。

A

市としても基本的に着用を推奨している現在の取り扱いを改め、3月13日以降は、行政が一律にマスクの着用をルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる。見直しについてはホームページや広報などで市民に周知する。

■保育士の配置基準

Q

保育士の配置基準は75年前のままであり、現場の実情に合わないと思われるが、見直しの必要性について伺う。

A

市では、45カ所の保育施設において配置基準を超えて4人程度の保育士を加配している。このような状況から配置基準を見直すことが望ましいとは考えられるが、配置基準の見直しの前に、まずは保育士の確保策や処遇改善などを講じる必要があると考える。

■パートナーシップ宣誓制度

Q

自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明を発行するパートナーシップ宣誓制度の導入について伺う。

A

性的少数者のカップルの関係を自治体が証明するパートナーシップ制度やファミリーシップ制度が全国的に広がり、本県においては一関市が令和4年12月に導入している。市が性的少数者のカップルをパートナーとして認証することは、当事者の方々にとって大きな意味があるため、導

■給食費の無償化

Q

子どもの食育や子育て支援から、学校給食費無償化が広がっているが、半額補助や多子世帯補助などの実施について伺う。

A

令和5年度の学校給食の食料費高騰分は市が負担する。第2子以降の半額補助には6千万円から1億円程度の市負担となる。保護者の負担軽減は、子育て支援策として一定の効果はあるが、多額の費用が長期に発生し、子育て支援策の財源バランスが崩れる懸念があり、慎重な判断が必要である。



及川 恒雄 議員

■地方鉄道の存続

Q

JR釜石線の利用状況およびこれまでの利用促進策、存続に向けた今後の取り組みについて伺う。

A

利用状況は減少傾向にある。利用促進策としてSL銀河をはじめとする各種事業に取り組んできた。今後、JRローカル線維持確保連絡会議や設置が予定されているJR釜石線の沿線自治体首長会議などを通じて、沿線自治体と連携を取りながら利用促進策の検討を行い、ローカル線の維持確保に取り組む。

■花巻市まちづくり総合計画

Q

まちづくり市民ワークショップの取りまとめ結果および意見アイディアの反映と進捗状況について伺う。

A

一般部門、若者部門ごとに結果をニュースレターなどでお知らせしている。意見やアイディアは庁内組織で検討し、素案を作成していく。令和5年4月末に長期ビジョンの素案を取りまとめる予定であり、令和5年度内の策定に向け、審議会等への諮問、議会への上程を行っていく。

■花巻市まちづくり総合計画

Q

新市建設計画に盛り込まれ、未着手となっている事業は次期総合計画でどれくらい反映されると見込んでいるか伺う。

A

新市建設計画に掲げた事業数は601事業であり、令和3年度末で未着手が160事業ある。次期総合計画の長期ビジョンを策定し、事業内容を精査した上でアクションプランへ反映させる。新たに盛り込む事業は、あまり多くないものと考えている。

■新花巻図書館の整備

Q

JRとの協議により、資料を市民に示し意見集約を図るとのことだが、病院跡地に整備する事業費と比較検討し経費の少ない方を選択することになるか伺う。

A

JR東日本に今の状況を説明し、土地の譲渡に係る条件を提示されるようお願いしている。駅前と病院跡地に整備する場合の事業費およびその資料を市民に示し、話し合つて意見の集約化を図りたいと考えている。事業費が安い方がいいという意見が出る可能性もある。

■JR釜石線の存続

Q

国交省は、JR釜石線を含む輸送密度、人員が少ない沿線について廃線あるいは地元負担という提言を行ったが、存続への取り組みを伺う。

A

JR釜石線は、通勤や通学など生活路線として必要不可欠な路線である。沿線自治体、県で組織するJRローカル線維持確保連絡会議に引き続き参加する。今後設置予定の釜石線の沿線自治体首長会議など関係者と連携し、釜石線を活用した観光振興を検討するなど、

■新型コロナウイルス感染症対策

Q

感染症法上の分類を五類に移行することによる医療機関の対応と、医療費の自己負担について伺う。

A

新型コロナウイルス感染症の診察に対応している医療機関は32施設である。花巻市医師会においては、引き続き維持されると認識している。国は5類への引き下げにより、現在、全額国負担となっている医療費の一部について自己負担を求める方向で検討しており、動向を注視する。



鹿討 康弘 議員

■婚活支援団体育成事業

Q

予算のほとんどが婚姻後の新生活支援への補助として使われているが、その成果について伺う。

A

結婚新生活支援事業費補助金は、結婚に伴う新生活に必要な家賃や引越費用、リフォーム費用などのスタートアップに関わる費用の補助であるが、交付希望者が大変多く、補正予算にて増額した。この補助金により結婚の増加につながっているかは実証できないが、少なくとも結婚生活の支援につながっている。

■保育士の待遇改善

Q

不適切保育や保育士不足の要因として、休憩も取れない過酷な待遇や不十分な配置基準があると考えられているが、市の支援と成果を伺う。

A

市では9の保育士応援事業に取り組んでおり、復職支援では令和5年1月までに114人の保育士が復職しているなど一定の成果を上げていくほか、家賃補助や奨学金返還支援補助の利用者も多い。また、上半期から配置基準を超えた保育士を加配する施設に対して人件費の一部を補助している。

■JR花巻駅橋上化・東西自由通路整備

Q

整備の事業主体は市であるが、自由通路の利用者のほとんどが鉄道利用者であれば、JR東日本が事業主体となるのは当然であると考えているが、この検討をJR東日本に申し入れた経緯があるのか伺う。

A

自由通路の整備に合わせ、駅の橋上化を検討することになってから、JR東日本は自ら整備する考えは一切なかった。自由通路を整備する場合は、一貫して整備費用は市が負

■旧新興製作所跡地の取得

Q

跡地の取得を検討するための調査費用が一般会計補正予算案に計上され、3月定例会で審議となるが、市で跡地を取得する検討の状況を伺う。

A

この土地を活用するためには約14億円が必要と試算している。歴史的に由緒ある場所であることから、上部平坦地の全部または一部を保存し、外観上の問題を解消する場合に、どの程度の費用が必要になるのか調査したい。



櫻井 肇 議員

■釜石線の維持確保に取組む。

Q

釜石線の維持確保に取組む。

A

令和5年1月末時点で小学生32人、中学生76人の不登校生が報告されている。担任などの教職員や生徒支援員、スクールソーシャルワーカーと連携を取りながら、児童生徒一人一人に寄り添い、多様な学習の機会や体験の場、心身のサポートを提供できるよう支援していきたい。

■自動体外式除細動器(AED)について

Q

AEDの設置場所の周知、公共施設における使用状況、操作研修の実施状況について伺う。

A

市ホームページに、市が把握しているものと全国AEDマップのリンクを掲載している。今後は、設置位置が確認できるQRコード付カードを配布するなど周知に努める。市が管理する施設での使用実績はない。消防本部主催の応急手当講習会は年9回実施しているほか、各種団体からの依頼により講習会を随

■不登校児童生徒に対する支援

Q

不登校の児童生徒について、現在把握している人数と対応策について伺う。

A

令和5年1月末時点で小学生32人、中学生76人の不登校生が報告されている。担任などの教職員や生徒支援員、スクールソーシャルワーカーと連携を取りながら、児童生徒一人一人に寄り添い、多様な学習の機会や体験の場、心身のサポートを提供できるよう支援していきたい。



すがわら 菅原ゆかり議員

■保育施設における紙おむつの処理

保育施設における使用済み紙おむつの処理方法および紙おむつのサブスクリプションを導入する考えはないか伺う。

A 公立保育園9園は現在保護者が持ち帰っているが、保護者の負担軽減の必要性から、令和5年度から園で処理することとしている。紙おむつのサブスクリプションについては、保護者や保育士の負担軽減になるメリットはあるが、保護者のニーズ、保育施設などの意見を踏まえ、先行事例も参考に検討していく。



※紙おむつのサブスクリプションは毎月定額の利用料を支払うことで、業者が直接紙おむつを保育施設に届けてくれるサービス

■带状疱疹ワクチン

Q 50歳以上の方が医療機関で接種することができる带状疱疹ワクチンについて、接種費用を助成する考えはないか伺う。

A 国が引き続き実施する带状疱疹ワクチンの有効性、安全性などを踏まえた定期接種化に向けた検討の結果や動向を注視するとともに、花巻市医師会からも意見を伺いながら検討を続けていきたいと考えている。

■保育士の確保

Q 保育士確保に向けた様々な支援事業に取り組まれているが、その成果について伺う。

A 私立保育施設における新卒および中途での保育士採用人数は、令和3年度44人、令和4年度は1月末現在で38人と、保育士確保に向けた取り組みは一定の成果を上げている。ただし、離職者もいることから、保育施設側の意見を伺いながら、離職者を減らす取り組みについても併せて検討している。



おおはら たけし 議員

■旧学校施設の活用

Q 小中学校の統廃合が進められているが、思い出の場所である学校施設の活用について伺う。

A 事例として、振興センターや介護施設として活用している。地域住民の意向を最優先に尊重し、特段の要望がない場合には、民間事業者などのニーズやアイデアを参考にしながら、より良い活用方法を検討していきたいと考えている。

予算特別委員会

予算特別委員会が設置され、3月7日から9日にわたり、令和5年度花巻市一般会計予算など6件の予算について審査を行いました。

令和5年度一般会計当初予算は、前年度当初予算比7%増(35億1858万円増)の537億9116万円となっています。

令和5年度予算は、「子どもの成長とともに創る、未来のはなまきを確かなものに」を方針として、「子育て・ひとづくりのまちづくり」を中心に、「安心暮らしのまちづくり」、「活力に満ちたまちづくり」を柱として編成しています。

審査における主な質疑、答弁の内容は次のとおりです。

◎高齢者運転免許返納支援事業

Q 羽山るみ子 委員 65歳以上の方が自主的に運転免許証を返納した場合、交付日の属する年度の翌年度末までを利用期間とするバスおよびタクシー券を1万円分交付するようだが、この利用期限を撤廃する考えはないか?

A 自動車を使わなくなったことにより、ライフスタイルが変わってくるという方に対する一時的な手当という考えであることから、2年度以内に使っていたら、2年度以内に使

◎定住促進事業

Q 小原保信 委員 子育て世帯の住宅取得に対する支援について、上限はあるか。また、新婚だが子どもがまだできていない夫婦は対象となるのか?

A 上限は1世帯30万円である。子育て世帯が対象となるため、新婚夫婦というだけでは対象外であるが、妊産婦の場合は対象となる。

◎保育委託事業

Q 照井明子 委員 北上市では保育所の空き状況がスマホで確認できるが、花巻市でもそのような利便性のあるサービスはできないか?

◎在宅育児支援事業

Q 鹿討康弘 委員 新規事業であるが、創設の経緯と内容は?

A 保育施設利用者の保育料無償化に伴い、施設を利用せず在宅育児を希望する世帯に対する支援も



「花巻市保育園空き状況」で検索できます

◎母子保健事業

Q 佐藤峰樹 委員 産前産後ケア利用者へタクシー代金を助成してほしいという声があるが、実態を調査する考えはないか?

A 産前産後ケアにかかるタクシー利用について、現状では市として需要が把握できていない。今後、調査、検討していく。

◎妊産婦交通費支援事業

Q 菅原ゆかり 委員 事業の詳しい内容は?

A ハイリスクの妊産婦に対し、上限5万円で交通費や宿泊施設を利用した際の支援を行うほか、ハイリスク以外の妊産婦についても市独自で2万円を上限にタクシー利用に対する交通費補助を行う。

◎健康診査事業

Q 小森田郁也 委員

新型コロナウイルスワクチンに関してはネット予約ができたが、がん検診についてもそのようなシステムを導入する考えはないか？

A

インフルエンザの予防接種など、徐々にネット予約が可能になってきてはいるが、検診の数が膨大でありシステムがまだ整っていない。今後はそのようなシステムが必要

になってくると考えている。

◎公害防止対策事業

Q 佐藤峰樹 委員

岩手県化製油脂協同組合に関する悪臭公害対策について、今後、改善勧告から改善命令に引き上げる可能性はあるのか？

A

可能性は否定できないが、関係する機関部署等の影響が見込まれるため、今後の検討課題である。早期改善に努めていきたい。

◎職業人材確保対策事業

Q 似内一弘 委員

新規に開設された企業検索サイト「おしごとNAVIE花巻」について、アクセス数および情報更新頻度、運営費用は？

A

2月26日の公開日からアクセス数は延べ861件。更新作業は年に1回から2回を想定しており、予算はサーバー等費用、サイト運営はビジネスサポート花巻に協力いただいている。



◎有機農業産地づくり推進事業

Q 横田 忍 委員

みどりの食料システム戦略にある有機農業の推進について、大規模経営者にとっては難しい栽培経営と思うが、所見と自

然栽培を推進していくために今後どのような検討をしていくのか？

A

大規模経営者には難しいと思うが、関心のある方々を仲間にして有機農業を広げていきたいと考えている。技術面ではアイガモロボットなどのスマート農業機械をレンタルしながら、農薬や化学肥料を使わないような技術にも目を向けていきたいと考えている。

◎農地有効活用事業

Q 及川恒雄 委員

中山間の平場での、ほ場整備を進めないと集積が進んでいかないが、どのように考えているか？

A

ほ場整備については地元負担等もあるため、進める上で地域の合意が得られることが前提となることから、地域との話し

合の上進めていきたいと考えている。

◎水田農業経営安定事業

Q 高橋 修 委員

水田活用交付金について水張要件を緩和することだが、どの部分が緩和されたのか？

A

現時点では水稲を作付することを基本としているが、湛水管理を1カ月以上行い連作障害による収量低下が発生しないことが確認されれば、水張りを行ったと認めるとされている。



Q 鹿討康弘 委員
新規の公共空間等活用社会実験事業の概要や予算の内容は？

A

花巻中央広場周辺の広場、道路、大堰川プロムナード、旧まちなかビクタ―センター前等の公共空間を活用する場合の問題点や、スペース利用の新たなアイデアなど有用なデータを収集、分析、検証する事業である。予算の多くは事業委託料となっている。

◎市営住宅環境改善事業

Q 羽山るみ子 委員

市営大谷地アパート解体工事のスケジュールと今後の利活用は？

A

令和5年度中の解体終了と用途廃止手続きを見込んでいる。土地の利活用については売却も含めて具体的な検討を進めていきたい。

◎消防・救急救助充実強化事業

Q 伊藤忠宏 委員

救急活動装備品として災害対応ドローンを導入することだが、どのようなものか？

A

災害対応ドローンの導入については、全国的に発生している大規模な火災、土砂災害など災害現場で状況を把握するのに非常に有用という調査結果もあり導入を計画した。県内の12の消防本部のうち、8本部が既に導入している。



災害対応ドローン（イメージ）

◎はなまき夢応援奨学金事業

Q 小森田郁也 委員

現在対象になっている方以外にも経済的事情により進学が困難な方もいると思うが、個別に対応する考えはないか？

A

現在、対象者以外への貸与は想定していないが、今後これ以外に必要な方が出てきた場合には検討していく。国の給付型奨学金拡充の状況も見ながら他の子育て支援の部分と併せて検討していきたい。

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 35	令和5年度花巻市一般会計予算
議案 36	令和5年度花巻市国民健康保険特別会計予算
議案 37	令和5年度花巻市後期高齢者医療特別会計予算

会派名	明和会					はなまき市民クラブ					社民クラブ		日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない			審議結果										
	議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根 清	小原保信	横田 忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋 修	小森田郁也	鹿討康弘	羽山るみ子	佐藤 現	伊藤盛幸	内館 桂	本館憲一	照井省三		若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	櫻井 肇	照井明子	似内一弘	佐々木精市	大原 健	菅原ゆかり	
議案 35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 37	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

請願・陳情審査

3月定例会では、総務常任委員会が第5号請願および第1号請願、文教福祉常任委員会が第3号陳情および第4号陳情、議会運営委員会が第2号陳情の審査を行いました。審査の結果、第5号請願および第3号陳情、第4号陳情は不採択、第1号請願および第2号陳情は採択すべきものと決しました。

◆第5号請願(不採択)
消費税インボイス制度の実施延期を求めることについて

本請願は、令和4年12月9日、令和5年2月10日に審査し、引き続き調査を行う必要があるとの意見があったことから継続審査としてきました。

令和5年3月定例会において、委員からは「コロナ禍、物価高騰による市民の負担が増える中、10月からの実施は市民生活に大きな影響を及ぼすのではないか」などの意見があった一方で、「本請願が提出されて以降、登録受付は9月末までの延長が確定している」などの意見が出されました。

採決の結果、賛成4、反対4の可否同数となり、花巻市議会委員会条例第16条の規定により、委員長

の決するところとなり、委員長採決により不採択すべきとなりました。

◆第1号請願(採択)
シルバー人材センターを「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」の適用除外にするよう国に意見書の提出を求めることについて

審査において、委員からは「公益社団法人の運営は、収入が費用を超えてはならないという収支相償の原則があり、請願内容は理解できる」といった意見や「当請願の本当の意味は、シルバー人材センターそのものが消費税納税の対象ではないと理解した」などの意見が出されました。

採決の結果、全会一致で採択すべきとなりました。

◆第2号陳情(採択)
市政の重要課題について、議員相互間の議論を尽くすことを求めることについて

審査において、委員からは「各代表者会において、橋上化および新花巻図書館に対しての自由討議は行わない」と議長の発言もあり、全員協議会で全議員に対して周知された」といった意見があった一方で、「議会基本条例にもあるように、自治体の政策を審議する場合において、その論点、争点を市民に明らかにする義務があり、議会の持つその機能を議決機関として発揮しなければならぬ、これを全うすることが議員の責任である」などの意見が出されました。

採決の結果、賛成多数で採択すべきとなりました。

◆第3号陳情(不採択)
新花巻図書館整備事業の所管事務調査を求めることについて

審査において、委員からは「新花巻図書館整備特別委員会はすでに解散しているため、それは別に所管事務調査は実施するべき」といった意見があった一方で、「議員全員が参加した新花巻図書館整備特別委員会で議論が尽くされ、当

局に3項目の提言を行い、その後の進展を見ている状況であることから、現時点で所管事務調査の必要性は感じない」などの意見が出されました。

採決の結果、賛成少数で不採択すべきとなりました。

◆第4号陳情(不採択)
感染対策として予防効果が疑わしいmRNAワクチン接種の政策評価を求めることについて

審査において、委員からは「感染者の情報が市町村で把握できないという状況で、市が調査、公表することは無理がある」といった意見や「政策評価は市の権限としてできず、不可能である」などの意見が出されました。

採決の結果、全会一致で不採択すべきとなりました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決の結果、『第2号陳情については委員長報告に対する反対討論などがあり、賛成少数で不採択』、その他については委員長報告のとおり決しました。

意見書を提出

シルバー人材センターを「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」の適用除外とすることを求める意見書

シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立され、県知事の許可を受けた公益法人であり、地域の日常生活に密着した就業機会を提供すること等により、高齢者の社会参加を促進し、併せて高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進を図り、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費の削減などに貢献しています。

令和5年10月から消費税の「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」が導入される予定となっておりますが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができないことから、センターは仕入税額控除が認められず、新たに預かり消費税分を納税する必要があります。しかし、公益社団法人であるセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源は全くありません。

消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1000万円以下の事業者は消費税の納税義務が免除されているところであり、少額の収入しかないセンターの会員の手取り額がさらに減少することなく、また、センターにおいては、今後とも安定的かつ継続的な事業運営が可能となるよう適切な措置を講じられるよう強く要請します。

※意見書全文は市ホームページに掲載しています

常任委員会等の活動報告

議会改革推進会議	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務常任委員会
<p>◆2月10日(金) * 反問権について * オンライン会議について ◆3月14日(火) * オンライン会議について * 議員報酬について</p>	<p>◆2月17日(金) * 協 議 「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」 ◆3月13日(月) * 所管事務調査 「花巻市起業化支援センターの取組状況について」 ◆4月27日(木) * 所管事務調査 「JRR花巻駅橋上化・東西自由通路整備について」 * 協議 「議会報告会の意見把握について」</p>	<p>◆2月15日(水) * 所管事務調査 「(1)コロナ禍における学校教育について (2)支援を必要とする児童生徒について」 ◆2月17日(金) * 協 議 「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」 ◆3月10日(金) * 陳情審査 「新花巻図書館整備事業の所管事務調査を求めることについて」 ▽ 審査結果…不採択 * 陳情審査 「感染対策として予防効果が疑わしいmRNAワクチン接種の政策評価を求めることについて」 ▽ 審査結果…不採択</p>	<p>◆2月10日(金) * 請願審査 「消費税インボイス制度の実施延期を求めることについて」 ▽ 審査結果…継続審査 ◆2月17日(金) * 協 議 「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」 ◆3月10日(金) * 請願審査 「消費税インボイス制度の実施延期を求めることについて」 ▽ 審査結果…不採択 * 請願審査 「シルバー人材センターを「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」の適用除外にするよう国に意見書の提出を求めることについて」 ▽ 審査結果…採択</p>



しみず ひなか
清水 日夏香 さん
(花巻南高校3年)

花巻市の未来へ ちょっと一言。



かんかねお
菅 金夫さん
(東和町砂子)

いきいきした街に

花巻には、昔ながらの街並みがたくさん残っています。また、マルカンビルや大堰川プロムナードなど素敵なスポットも数多くありますが、そのすばらしさに気付いていない方や訪れたことがない方もいるものと思います。そこで、まずは花巻の魅力を発信していきたいと考えられています。マップを

作って楽しく散策してもらおうことで、その魅力に気付いてもらったり、セルフ写真館などの面白い場所を作り、花巻で遊びたい、花巻に住みたいと思えるような街にしたいです。

花巻を盛り上げ、いきいきした街づくりに向け、私自身も行動していきたいと思っています。

近代的な農業の実現に向けて

私は、農業法人とほ場整備事業の代表をしております。肥料等の高騰により今年の農業経営がどのようなになるか心配しております。最近、水田の耕作を依頼する方が多数あり、組合員の中で水管理や蛙畔の草刈を分担し対応しておりますが高齢化等により限界になりました。ようやく、9年前

から要望していた水田の区画整理工事が今年から開始されることになりました。今後の水管理はスマホで行うなど、水路の泥上げも必要がなくなると思います。この事業の実施に当たっては、国、県、市の多額の負担が発生します。中山間地域の効率的な農業の実践に向けて今後もご支援をお願いいたします。

議会の動き 2月～4月

- 2月1日 議会運営委員会
- 2日～4日 議会報告会
- 9日 観光政策推進議員連盟、農林業政策推進議員連盟、議会運営委員会
- 10日 議会改革推進会議、総務常任委員会
- 15日 文教福祉常任委員会
- 17日 議員全員協議会、総務常任委員会、文教福祉常任委員会、産業建設常任委員会
- 20日 議会運営委員会、各派代表者会
- 2月24日～3月16日 令和5年第1回定例会
- 24日 議会運営委員会、広報特別委員会
- 3月6日 議会運営委員会
- 7日～9日 予算特別委員会
- 9日 議員全員協議会
- 10日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
- 13日 産業建設常任委員会、議会運営委員会
- 14日 広聴特別委員会、議会改革推進会議
- 16日 議会運営委員会、議員全員協議会
- 24日 広聴特別委員会
- 4月4日 広報特別委員会
- 11日 広聴特別委員会
- 13日 広報特別委員会
- 18日 広報特別委員会、各派代表者会
- 20日 議会運営委員会
- 25日 令和5年第2回臨時会、広聴特別委員会
- 27日 産業建設常任委員会

議会傍聴にぜひお越しを！！

【3月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 82人

【6月定例会】

6月16日（金）開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598（直通）

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM  78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

【広報特別委員会】

委員長

羽山るみ子

副委員長

小原 保信

委員

小森田 郁也

鹿討 康弘

及川 恒雄

伊藤 忠宏

佐々木 精市

櫻井 肇

阿部 一男